

積極的なグローバル投資を行うとともに、さらなる構造改革によって新しい価値の創出を加速

2023-2025年度 中期経営計画レビュー

2026-2028年度 中期経営計画

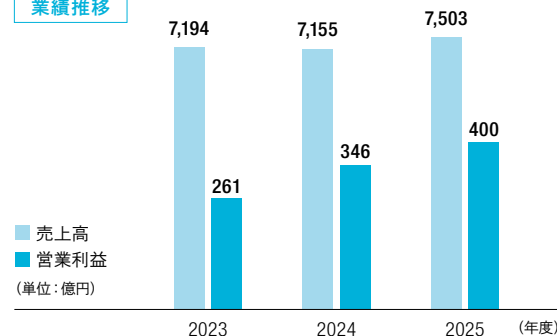
振り返り

- イメージングコミュニケーション関連等の事業が堅調に推移。
- 出版関連事業や既存マーケティング関連事業の構造改革が寄与。

2025年度売上概要

- **イメージングコミュニケーション関連**：写真プリント用部材が新型プリンターの需要増等により好調だったほか、IDカード用インクリボンが堅調に推移し、前年を上回った。
- **情報セキュア関連**：デュアルインターフェイスICカードが前年から減少したものの、BPOの大型案件などがあり、前年を上回った。
- **コンテンツ・XRコミュニケーション関連**：コンテンツ関連は国内外で人気の知的財産を活用したイベント等に注力したほか、XR関連は教育や行政分野のサービスを拡充。

業績推移



ポートフォリオの変革の考え方

成長性を確認し情報セキュア関連とフォトイメージング関連を基盤事業から注力事業へ、事業拡大の可能性を確認しデジタルマーケティング関連を成長ポテンシャル事業へ転換。

注力事業への積極投資

- **情報セキュア関連**：市場成長が見込まれるグローバルな有望市場などに積極的に投資。グループに迎えたRubicon SEZC社とのシナジーなどによりグローバル展開を加速。
- **フォトイメージング関連**：昇華型熱転写プリンター・メディアの開発やメディア生産能力強化も含めたグローバルでの投資を推進。生産体制・供給体制を全世界で強化し、新興国市場の開拓も進めて、さらなる成長をめざす。

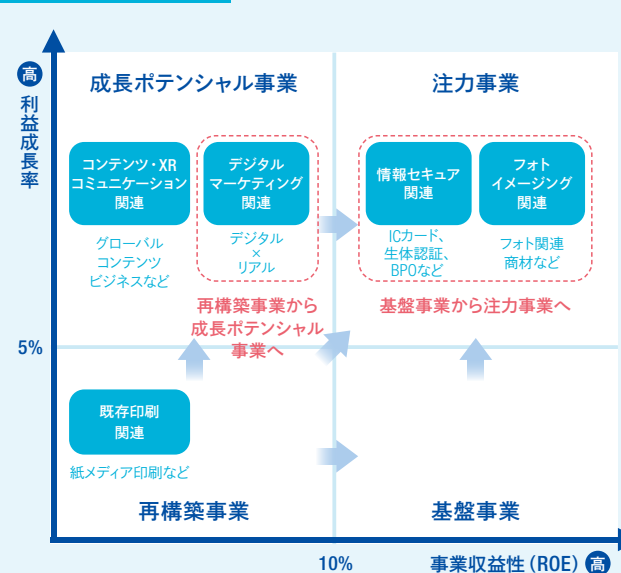
新たな価値の創出と構造改革

- **出版印刷関連**：既存事業の収益性改善と新規事業拡大の両立により事業基盤を強化。
- **マーケティング関連**：リアルとデジタルの強みを活かし、事業プロセス全体で提供価値を最大化。

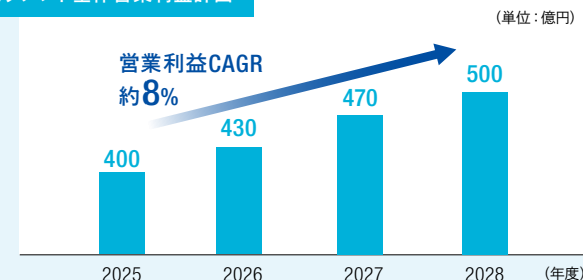
新たな注力事業の育成

- **コンテンツ・XRコミュニケーション関連**：各事業部門の強みを掛け合わせ、グローバル展開を見据えたコンテンツ（アニメ等の知的財産）ビジネスを展開。情報加工・変換技術とAI・XRを組み合わせ、社会課題の解決と新たな生活者体験に向けた価値を開発・提供。

ポートフォリオの変革



セグメント全体営業利益計画

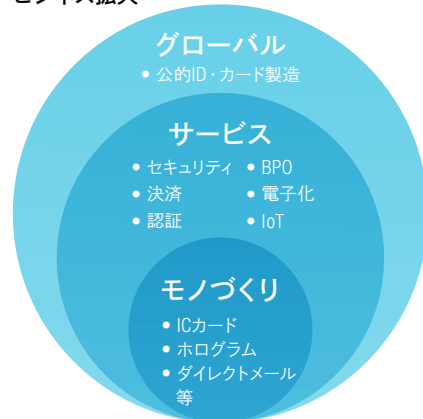


成長戦略

モノからコトへ、グローバル展開

サイバーとフィジカルの両方の空間で「ヒト」「モノ」「情報」がつながるスマート社会において、「誰もが心地よく、意識することなく、安全・安心な生活ができる社会の実現」をめざす。

モノづくりを基盤とした
ビジネス拡大



● 製品・サービスの組み合わせによる
高付加価値サービスの開発・提供

サイバーとフィジカル両方のセキュリティリスクに対して、ICカードをはじめとする多様な製品・サービスを組み合わせ、認証や決済、教育などの領域で付加価値の高いソリューションを開発し普及させる。

● DNPグループ×パートナー企業の
協業による事業拡大

DNPが培った情報セキュア関連の強みと、世界の多様なパートナー（Cybertrust Japan、BroadBand Security等）の強みを掛け合わせ、認証・決済・サイバーセキュリティ領域の事業を拡大。

● グローバル事業の拡大

人口増加・デジタル化が進む新興国市場を今後の有望市場と捉え、その開拓に向けた投資を積極的に進めることで、情報セキュア事業のグローバル化を加速する。

今後成長が見込まれるアフリカ・アジアを中心に展開

社会インフラ領域で培った信頼と顧客基盤、「モノづくり×サービス×オペレーション」の統合型セキュリティモデル、海外パートナーとの連携による価値提供力を強みとして各種施策を展開。海外では、成長著しいアフリカ・アジアを中心にグループ全体で取り組みを強化していく。

● 公的ID領域で高付加価値なソリューションをグローバルに提供

2025年7月にグループに迎えたRubicon SEZC社や、2026年度にTOBを進めるAUSTRIACARD社とともに、本人登録からID証発行、認証まで、各国・地域のニーズに応じて公的ID領域の高付加価値なソリューションを開発・提供し、リーディングカンパニーをめざす。

3社のケイパビリティ

Rubicon SEZC

- 生体認証登録ソリューション
- 政府向けIDプロジェクトの豊富な実績
- 世界銀行プロジェクトへの参画実績

AUSTRIACARD

- 政府向けID・セキュリティソリューション
- 東欧・中東・アフリカ・北米での事業基盤
- カード発行・認証領域の豊富な実績

DNP

- セキュリティ印刷・認証技術
- プリンターおよび関連消耗品
- 日本・アジアでの事業基盤

公的ID領域における
提供機能



市場環境

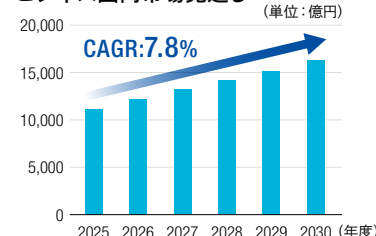
デジタルID普及を背景に、グローバルでの成長が期待できる

● 市場環境の変化

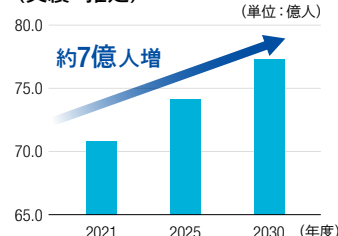
- デジタル技術の進化によるリスクの高度化、多様化
- 地政学リスクによる原材料調達の不安定化と価格高騰

● 成長ドライバー

- AIエージェントの普及、サイバーリスクの高度化に伴うガバナンス強化の高まり
- 社会構造の多様化・複雑化に伴う認証・セキュリティニーズ増
- 各国・地域における公的ID制度の普及とID利活用の拡大
- キャッシュレス決済の促進

デジタルID・認証ソリューション
ビジネス国内市場見通し

出典：総務省・経済産業省等の公表資料を基に当社独自の推定を加えて算出

世界の公的ID保有者数の推移
(実績・推定)

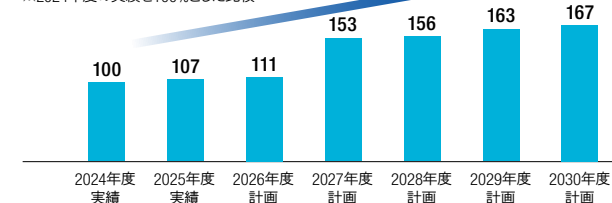
出典：World Bank「ID4D」、UN人口統計等を基に当社推計

業績推移と将来展望

国内外で高まる情報セキュア関連の需要拡大を背景に、成長戦略を着実に実行することで持続的な事業拡大を実現していく。

情報セキュア事業の売上計画

※2024年度の実績を100%とした比較



成長戦略

魅力ある商材開発／新興国での展開

本事業でめざす「あらゆる想いをカタチにし、笑顔と安心に満ちた世界をつくる。」を実現するため、高品質な写真プリントに加えて、さらなる魅力にあふれた商材を開発・提供していく。

新規市場の開拓と提供価値の拡大による持続的な成長



マーケットを反映した製品開発と最適地生産

- ・日本・北米・欧州・アジアの製造・販売拠点や販売代理店を通じ、世界で100以上の国・地域にフォトプリンターとメディア（昇華型熱転写記録材）を提供。
- ・世界各地の市場動向を反映した製品・サービスの開発力と最適地生産の実現力もDNPの強み。今後、成長が期待される東南アジア・南アジア・中国・アフリカに注力していく。

グローバル拠点とサプライチェーン



市場環境

フォト関連市場はグローバルで市場成長が期待

● フォト関連のグローバル市場規模

2024年：推定267億米ドル ▶ 2030年までCAGR 5.2%で成長*1

● DNPは2024年に8インチ両面フォトプリンター「DS820DX」を市場に投入

DS820DXでは、多様な用途のプリントが可能
▶ フォトブック、グリーティングカード、カレンダー等

● 北米市場に導入し、さらには他地域へ展開

● インドウェディングフォト市場 CAGR7.5%*2
インド国内観光消費の増加 CAGR7.4%*3

● 2026年3月 インド現地法人営業開始

DNP Imagingcomm India Pvt.Ltd.

- ① 昇華型フォトプリンター＆メディアの販売
- ② インド市場に適した新しいビジネスモデルを展開

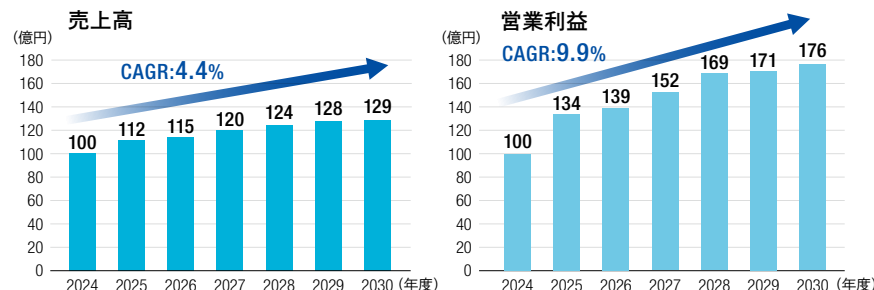
● フォトプリントシステム・フォトブースをウェディングイベントや観光地に展開



*1 Photo Printing & Merchandise/Global Information, 2025
*2 2024 Wedding Merchandise Market/Fortune Business Insights 2024
*3 Travel & Tourism Economic Impact 2024

業績推移と将来展望

- ・新興国市場の開拓で販売エリアを拡大し成長を加速
- ・フォト関連市場において、プリンターやメディアの高付加価値品の伸長で利益を拡大



※2024年度の実績を100%とした比較